

みたかサマーラボ

～研究者と語り合おう～

2019

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



ジェットエンジンの仕組み



航空技術部門
コアエンジン技術実証
(En-Core) プロジェクト
チーム
主任研究開発員
賀澤 順一 さん

海上・港湾・航空技術研究所 (うみそら研)



海の波と船の揺れ



海上技術安全研究所
流体性能評価系
運動性能研究グループ
主任研究員
北川 泰士 さん

国立天文台 (NAOJ)



銀河はどうやってつくる?

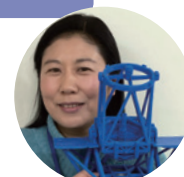


総合研究大学院大学
博士課程
日本学術振興会
特別研究員 DC2
菊田 智史 さん

国立天文台 (NAOJ)



いろいろな人に
宇宙を伝える



国立天文台
天文情報センター
特任専門員
臼田-佐藤 功美子 さん

8/20 火

参加費無料

13時～15時30分

定員：30人 (定員を超えた場合は抽選)

13:00～14:30 サイエンストーク

研究者ってどんなことしてるの? どうやってなるの?

14:40～15:30 コミュニケーションタイム
4グループに分かれ、フリートーク

お申し込み方法 **8月2日(金)まで**

三鷹ネットワーク大学推進機構

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

Mail info@mitaka-univ.jp

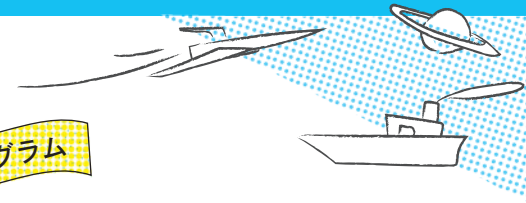
講座詳細

<https://www.mitaka-univ.org/kouza/B1951900>

電話、電子メール、HPで
お申し込みできます。

氏名、学年、メールアドレス、電話番号、
保護者氏名、保護者の電話番号をお送りください。
件名は「みたかサマーラボ」としてください。





講座概要

三鷹市周辺には、国立天文台、うみそら研、JAXAなど、科学関連施設が多く存在しているのを知っていますか？今回はこれらの研究機関に協力を得て、小学校高学年・中学生向けの講座を企画しました。

各機関での研究を知って科学に親しみと関心を持ってもらうだけでなく、「研究者」という職業や、本物の科学に触れることで、みなさんの将来について考えるきっかけになればと思います。ぜひ、参加してみませんか！

プログラム

13:00~

- サイエンストーク①
- サイエンストーク②
- サイエンストーク③
- サイエンストーク④

4人の研究者が、科学の楽しさや面白さについてお話しします！

14:40~

コミュニケーションタイム

4グループにわかれて、研究者と語り合います。

コーディネーター：みたかSCサポートネット

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

調布市深大寺・三鷹市大沢



航空技術部門
コアエンジン技術実証 (En-Core)
プロジェクトチーム
主任研究開発員

賀澤 順一 さん

宇宙航空研究開発機構は、宇宙開発や航空機の技術を研究しています。調布にある航空技術部門では、私たちの生活に欠かせない航空機の技術について研究しています。

2005年3月 東京大学工学部航空宇宙工学科博士課程修了。06年4月からJAXA プロジェクト研究員としてジェットエンジンの騒音に関する研究、09年4月から正職員としてジェットエンジン内部流れの数値解析に関する研究に従事。

飛行機が飛ぶためには、前へ進むための推進機関が必要です。ジェット機ではジェットエンジンがそれを担っています。カバーで覆われて見えないジェットエンジンの構造と仕組みについて解説し、JAXAで行っている研究についても紹介します。

海上・港湾・航空技術研究所 (うみそら研)

三鷹市新川



海上技術安全研究所
流体性能評価系
運動性能研究グループ
主任研究員

北川 泰士 さん

うみそら研 (通称) は、海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所及び電子航法研究所の3つの研究所が統合して平成28年にできた研究所です。三鷹にある海技研には 400mの水槽など色々な実験用の水槽があります。

1983年京都府生まれ。奈良県立郡山高校、大阪大学工学部地球総合工学科を卒業。2010年4月に海上技術安全研究所に入所、現在社会人10年目です。これまで、船舶の推進性能・操縦性能・波浪中動揺、に関する研究に従事し、自身の研究成果が日本の海事産業に貢献できればと頑張っています。小金井市に在住。休日は小説・漫画を読んだり、妻と二人で Nintendo Switch (マイクラソフトなど) をプレイして過ごしています。

国立天文台 (NAOJ)

三鷹市大沢



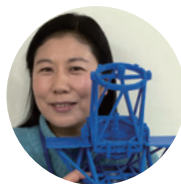
総合研究大学院大学博士課程
日本学術振興会特別研究員 DC2

菊田 智史 さん

国立天文台は、天文学を研究している、日本の天文学のナショナルセンターです。前身の東京天文台は、大正3年に三鷹に引っ越してきました。

総合研究大学院大学に在籍し、国立天文台三鷹キャンパスで銀河の研究を続ける大学院生。博士課程3年。うず巻き型、だ円型などのさまざまな銀河の姿がどう生まれたかを解き明かすことを目的に、はるか彼方の宇宙に存在する銀河をすばる望遠鏡などの世界中の様々な望遠鏡を使って観測しています。

私が進めている研究に焦点をおきつつ、ふだん観測天文学者が何をやっているかをくわしくお話しします。



国立天文台天文情報センター
特任専門員

臼田-佐藤 功美子 さん

博士 (理学)。2013年までの15年間、米国ハワイ島にて地元で根ざした天文学普及活動を行っていました。その頃から、障害の有無を問わず、いろいろな人と宇宙にふれる楽しみを共有しています。国立天文台三鷹見学コースに音声ガイドや手話動画を設置したり、触って理解できる、すばる望遠鏡やアルマ望遠鏡の3D模型を開発したりしています。他の人々と一緒に科学を楽しむ方法を一緒に考えていきます。

一般社団法人
みたかSCサポートネットとは

みたかスクール・コミュニティ サポートネット (平成23年設立) を前身とし、平成29年に設立された一般社団法人です。未来ある子どもたちの「今」を大切に、夢と希望がもてる社会を創り出す人材の育成を目的としています。